

木村進匡(きむらのぶまさ)先生のプロフィール

1967年 広島大学大学院医学研究科卒業。医学博士。

1973年 広島市にて木村神経科内科クリニックを開設。

医師会活動、学会活動、社会活動などに多く携わり現在に至る。
専門領域は精神科、神経科、心療内科、リハビリテーション科。

◆先生が初めて漢方と出会われたのはいつ頃ですか

漢方エキス剤が健康保険に採用された頃、広島では扱っている問屋が無くて、大阪まで注文して送ってもらいました。

夜間頻尿のご老人に八味地黄丸エキス細粒を投与したところ、劇的に改善しました。それ以来、漢方の魅力に取り付かれています。



◆先生の御専門で漢方はどのような効果を発揮していますか

心療内科を訪れる人や精神疾患の方々は薬剤に対して恐怖心を持つことが多いのですが、生薬である漢方薬には、比較的馴染みやすいようです。

◆普段の治療で漢方薬と西洋薬との割合はどれくらいですか

向精神薬は西洋薬が主役です。しかし佐薬としては、漢方エキス剤を使っています。

神経症性障害や更年期障害などは、体質に合わせて漢方エキス剤をベースにして、西洋薬を旨み調味料のように付加します。

◆10年後の漢方医療はどうなっている(またはどうあってほしい)とお考えですか

もっと薬効などが科学的に解明され、西洋医学に慣れた日本の医師が結果論ではなく、理論的にも納得しながら使いたいと希望しています。

◆先生ご自身漢方を飲んで効果を実感なさったことがありますか

くしゃんときたらすぐ葛根湯エキス剤を熱湯で溶かして飲みます。
良く効きます。



◆これから漢方医を志す方に一言お願いします

あまり証にこだわらず、とにかく経験を積むことです。陰陽虚実は重視すべきですが、五行説、気血水などは眉唾物です。

◆漢方に関心のある一般の方に一言お願いします

漢方は万能ではありません。要はあなたの健康が回復するのが目的ですので、漢方薬も西洋薬も専門家の意見を重視して、適材適所に利用すべきです。



◆座右の銘、好きな言葉などありましたら教えてください

「生涯一開業医」に徹したいです。

◆その他、ご意見ご感想などありましたらお聞かせ下さい

漢方薬は、免疫機能(体力)を高めることで自然治癒力を増強します。

暖かく育てていきたいと希望します。



注意:先生へのインタビューは、当会が2003年12月に行った内容です。